

令和 6 年 12 月 12 日

令和 6 年度 自己評価報告書

きぎそう学舎

世田谷区立八幡小学校

校長 阪田 敦子

【アンケート調査実施概要】

対象：保護者 児童 地域

実施：令和 6 年 10 月 17 日～31 日

全児童保護者数：666 人

地域数：40 人

回答数

児童（5, 6 年）：109 人

保護者数：243 人

地域数：20 人

1 学習指導について

児童

設問	肯定的評価 (%)	
	昨年度	今年度
1 学ぶことが楽しい。		78
2 先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	92.9	92.7
3 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	74.1	88.1
4 授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。	94.6	96.3
5 先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	89.3	93.6

保護者

1 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	82.8	79.8
2 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	67.7	68.3
3 本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	85.8	80.3
4 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	79.7	76.1

児童は高い評価であるが、児童と比較すると保護者の肯定的評価は 60～70% 台である。学

校公開だけではなく、保護者会、ホームページ、学校だより等保護者に授業の様子を周知する。また、同時に本校の教員の学習指導力の更なる向上を図る必要がある。

## 2 生活指導について

### 児童

1	私は、学校の決まりを守って、行動している。	86.6	88.1
2	学校の決まりを守らない児童に先生は注意している。	82.1	84.4
3	先生に注意されたことは理解できる。	85.7	88.1

### 保護者

1	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	76.3	78.6
2	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	78.9	78.6

### 地域

1	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	91.3	90
---	-----------------------------	------	----

児童、保護者、地域共に高評価である。保護者の「あまり思わない」「思わない」という否定的な評価、「分からぬ」という評価が約20%となっている。本年度は、廊下歩行について、教職員が共通理解をして重点的に取り組んできた。その結果、けが人が大幅に減った。生活指導に関する取り組みが、保護者に浸透していないことから、学校での取り組みを学校だより等を通して、発信していく必要がある。

## 3 学校行事（運動会・学芸会・宿泊行事など）

### 児童

1	学校行事は楽しい。	91.1	89.9
2	学校行事は達成感がある。	85.7	86.2
3	先生は、児童の意欲を大切にしている。	86.6	91.7

### 保護者

1	学校行事は、子どもにとって楽しい。	99.1	95.5
2	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	97.4	93.9
3	本校は、子どもの意欲を大切にしている。	90.1	88.1

### 地域

1	学校行事の内容は充実している。	95.7	85
2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	91.3	100

児童、保護者、地域共に高評価である。児童が中心になり、主体的に行事に取り組んでいることから、達成感や意欲面が高くなっている。今後も、児童の思いや考えを取り入れた行事、児童が中心になって取り組む行事にしていく。

#### 4 キャリア教育について

##### 児童

1	自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	59.8	70.6
2	目標をもち、その実現に向けて努力している。	80.4	83.4
3	区立中学校に関する情報が提供されている。	51.8	55.1

##### 保護者

1	本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	70.3	63
2	本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	51.3	49.4

児童の評価が昨年度よりも高くなっている。ここ数年、教員がキャリア教育の視点で教育活動をすすめていることの成果が表れ始めているといえる。一方、保護者の評価が低くなっていることから、学校だより、保護者会などを通して、周知が必要である。

また、学び舎の取り組みや区立中学校の情報を計画的に発信していく必要がある。

#### 5 教職員について

##### 児童

1	先生たちは、丁寧に指導してくれる。	86.6	96.4
2	先生たちに相談できる。	72.3	82.5

##### 保護者

1	本校は、丁寧に指導している。	84.9	84
2	本校は、子どものことを相談しやすい。	79.7	79.1

教員の指導については昨年度に引き続き、児童、保護者ともに高評価である。相談のしやすさについては、約 20%の児童や保護者が相談しやすくなるような相談体制を考えるとともに、信頼関係の構築をさらにすすめる。

## 6 学校全般について

### 児童

1	学校は楽しい。	88.4	91.7
2	学校が好き。	83	80.8
3	私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	67.9	67
4	私は、塾で学習している。	80.4	78.9
5	学び舎の中学に行ったり中学生が来たりする機会がある。	67.9	57.8

### 保護者

1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	88.4	85.6
2	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	70.7	58.8
3	本校は、近隣の幼・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	62.9	56
4	本校の教育活動に満足している。	80.6	80.2
5	子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	75.4	74.9

学校生活の楽しさについては、児童、保護者ともに高評価である。

家庭学習や宿題については、自主的に取り組んでいる児童が大幅に減っている。来年度に向け、宿題の在り方の転換を行う。

学び舎の交流活動においては、活動内容として、地域や保護者の皆様から高い評価を受けているが、数値に表れていないことから、『学び舎』の周知の仕方を工夫する必要がある。

## 7 学校からの情報提供について

### 保護者

1	本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	84.9	89.7
2	「学び舎」の区立幼稚園、中学校についての情報が提供されている。	60.8	53.5
3	本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	89.2	93
4	学校のホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	90.1	85.2

### 地域

1	学校からのお知らせなどにより、学校の様子が分かる。	100	95
2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	65.2	75
3	学校公開や道徳地区公開講座などで学校の様子が分かる。	65.2	65
4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	78.3	85

学校の情報提供に関しては、おおむね高い評価となっている。  
一方、「学び舎」に関する情報が保護者や地域に十分届いていない。学校だよりやホームページを活用し、情報発信を工夫する必要がある。

## 8 学校運営について

### 保護者

1	本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	79.7	79
2	校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	89.2	83.6

### 地域

1	学校の重点目標が明確である。	82.6	95
2	地域の意見に対して、学校は丁寧に説明・対応している。	73.9	80

「学校の重点目標を伝えている」という保護者の肯定的評価が高くなっている。本年度PTA主催「校長と話をする会」などを定期的に行っている成果が表れていると考える。

## 9 学校と家庭の連携について

### 保護者

1	私は、学校公開にすすんで参加している。	91.8	94.2
2	私は、学校行事、PTAや地域行事などにすすんで協力している。	66.8	68.7
3	私は、今年度の学校重点目標を理解している。	62.1	57.2

上記の質問「学校の重点目標を伝えている」に対して、「学校重点目標を理解している」が大幅に低くなっていることから、重点目標に対して理解がすすむような発信方法を工夫する。

## 10 地域との連携について

### 保護者

1	本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	72.8	71.6
2	本校は、地域の活動などに協力的である。	75.4	69.1
3	本校は、地域に情報を提供している。	72	65

### 地域

1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	91.3	75
2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	52.2	55
3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	73.9	75

「地域の人や施設を教育活動に活かしている」の地域からの評価は昨年度と比較してかなり低くなっている。しかし、本年度も、地域の人材や企業の方とのタイアップ授業を行っていることから、周知の仕方を工夫する必要がある。

## 11 学校の安全性について

### 保護者

1	本校は、安全な学校づくりをすすめている。	85.3	81.9
2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	93.5	95.1
3	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	78.9	72

### 地域

1	学校は、安心・安全な学校づくりをすすめている。	95.7	100
2	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	95.7	85

おおむね高い評価となっている。「本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している」の保護者の評価に関しては、昨年度に比べ、下がっている。避難訓練を通して、自然災害時の対応についての指導をすすめ、子どもの対応力を高める必要がある。

## 12 学校での生活や地域行事などについて（学校独自項目）

### 児童

1	元気なあいさつや返事をすることができる。	84.8	84.4
2	私は、相手の気持ちや考えた言葉遣いをするように心がけている。	89.3	87.1
3	私は、自分の考えを言葉で伝えるようにしている。	82.1	85.3
4	授業や行事の中で、自分で考え、友達と協力して、課題を解決することが楽しい。	85.7	88.1
5	タブレットやインターネットをルール守って正しく使用している。	88.4	90.8
6	楽しみにしている地域の行事（盆踊りやウォークラリー、新春こどもまつ	65.2	60.5

	り) がある。		
--	---------	--	--

おおむね高い評価となっている。地域の行事に関しては、60%台なので、地域の方々が児童のために様々な場を用意してくださっていることを周知し、興味関心を高めるようにする。

### 1 3 子どもの学校生活や地域のつながりについて（学校独自項目）

保護者

1	子どもは、地域や家庭において、あいさつや返事をしている。	84.9	85.6
2	子どもは、相手を意識した行動や丁寧や言葉遣いをしている。	77.6	72.4
3	子どもは、自分の考えを自分の言葉で伝えている。	74.6	82.3
4	子どもは、生活科や総合的な学習の時間を楽しみにしている。	73.7	76.1
5	本校では、よりよい授業をするために工夫が行われている。	75.9	76.6
6	タブレットやインターネットなど正しく利用するために子どもと話し合ったり、指導したりしている。	83.6	74.5
7	子どもたちはマナーを守って登下校している。		77
8	子どもと地域のコミュニケーションの場として、盆踊りやウォークラリー、新春こどもまつりなどの行事が必要だと思う。	78.4	70.4
9	八幡小学校では、地域の方や企業の方が授業に参加していることを知っている。		64.2

「地域の方や企業の方が授業に参加していることを知っている」の項目に関して 60%台となっている。実際に地域や企業の方が授業に参加しているので、周知の方法を工夫する必要がある。タブレットやインターネットの利用に関しては、昨年度と比べ評価は下がっているが、指導を継続したことで、ほとんどの児童が正しく使えるようになってきた。

### 1 4 八幡小学校と子どもたちについて（学校独自項目）

地域

1	子どもたちは、元気にあいさつをしている。	87	70
2	子どもたちはマナーを守って登下校している。		85
3	子どもと地域のコミュニケーションの場として、盆踊りやウォークラリー、新春こどもまつりなどの行事が必要だと思う。	100	90
4	八幡小学校では、地域の方や企業の方が授業に参加している。	73.9	55

「地域の方や企業の方が授業に参加している」の項目に関して 50%台となっている。実際に地域や企業の方が授業に参加しているので、周知の方法を工夫する必要がある。

あいさつについて評価が下がっている。児童が中心になってすすめる『あいさつ』への取り組みを行う